

Ⅲ－1. 活動状況とその変化について

※貴団体等がおもな活動場所で行っている活動について、以下(1)～(8)の設問にお答えください。

(1)活動団体等の現在の会員数(分からない場合は「把握していない」に○)

()人 ・ 把握していない

(2)対象地域での活動年数(分からない場合は「把握していない」に○)

()年 ・ 把握していない

(3)活動団体等の活動頻度(およその回数を記入)

()回／年 ・ 把握していない

(4)活動団体等の年間の活動回数の増減について(あてはまるもの1つに○)

1. 増加傾向 2. 変化なし 3. 減少傾向 4. 把握していない

(5)活動に参加・協力する人々の居住地・本拠地等について(あてはまるものすべて○)

参加メンバーの居住地・本拠地等は・・・
1. 活動場所(集落)周辺 2. 周辺都市部 3. その他都市部 4. その他の地域

(6)活動に参加・協力する人々の年齢層について(あてはまるものすべて○)

参加者等の年齢層は・・・
1. 未就学児 2. 小・中学生 3. 高校生・大学生 4. 20代～30代 5. 40代～50代 6. 60代以上

(7)会員外も参加する活動プログラムやイベント等の年間開催数(およその回数を記入)

()回／年 ・ 把握していない

(8)上記活動プログラムやイベント等の参加者数(年間延べ数)について(あてはまるもの1つに○)

1. 年々増加している 2. 変化なし 3. 年々減少している 4. 把握していない

Ⅲ-2. 活動内容について

※1～27にあげた「具体的活動内容」のうち、貴団体等で行っている活動にあてはまるものすべてに「○」をつけてください。

	具体的活動内容 ※あてはまるものすべて○	
【ア. 農林業を通じた持続的な管理・利用、バイオマスなど新たな資源としての利用】	1. 環境保全型農業	7. 農産加工品開発・販売
	2. 耕作放棄地の活用	8. オーナー制度の運営
	3. 森林管理手法の継承	9. 林産物市場開拓
	4. 草地・田畑管理手法の継承	10. 林産物利用技術開発
	5. 森林と農地の連携による循環利用の継承	11. バイオマスエネルギー利用
	6. 農産物ブランド化	12. その他()
【イ. 野生動植物やその生息地の保全・管理】	13. 野生生物生息・生育地保全	
	14. 外来生物の駆除	
	15. 自然再生・ビオトープ整備	
	16. 科学的・計画的な森林管理	
	17. 鳥獣害対策	
	18. その他()	
【ウ. 良好な景観の保全、伝統的生活文化の智慧や技術の継承】	19. 良好な景観の保全・活用	
	20. 伝統的衣食住文化の保全・活用	
	21. 伝統的な維持管理技術の継承	
	22. 景観・文化を基盤とした新たなプログラム開発	
	23. その他()	
【エ. 環境教育や自然体験、エコツーリズム等の場としての利用】	24. 自然観察会・ガイドツアー	
	25. グリーンツーリズム・エコツーリズム	
	26. 自然体験・農林漁業体験・農村生活体験プラン等の提供	
	27. その他()	

IV. 活動目的とその達成状況について

※おもな活動場所での取組の目的と、その効果があったかどうかについて、以下(1)～(3)の設問にお答えください。

(1)活動目的 ※あてはまるものすべてに○↓	(2)目的達成状況(左欄「○」の場合回答) ※あてはまるもの1つに○	(3)効果があったと思う理由((2)で「1」を選択の方のみ回答) ※あてはまるものすべてに○
【ア. 農林業を通じた持続的な管理・利用、バイオマスなど新たな資源としての利用】	1. 効果があった ⇒ 2. あまり効果がなかった 3. 効果がなかった	a. 農山村の生業や土地利用が継承されている b. 環境保全型の農林業の取組が拡大している c. 収穫した産品や加工品のブランド化や地産地消による市場開拓が進められている d. バイオマスなど里地里山の未利用資源が積極的に利用されている e. その他()
【イ. 野生動植物やその生息地の保全・管理】	1. 効果があった ⇒ 2. あまり効果がなかった 3. 効果がなかった	a. 活動場所に生育・生息する動植物を把握できている b. 活動場所に生息する野生動植物が適切に保全・管理され、生物多様性が回復している c. 外来種等による里地里山の荒廃を防いでいる、または影響が少ない d. その他()
【ウ. 良好な景観の保全、伝統的生活文化の智慧や技術の継承】	1. 効果があった ⇒ 2. あまり効果がなかった 3. 効果がなかった	a. 地域自慢の(残していきたい)里地里山景観が維持されている b. 里地里山の景観、伝統的な衣食住文化を保全・活用できている c. 里地里山の伝統的管理手法の再評価、技術の継承が行われている d. 参加者、協力者など活動にかかわる主体が増え取組が拡大している e. その他()
【エ. 環境教育や自然体験、エコツーリズム等の場としての利用】	1. 効果があった ⇒ 2. あまり効果がなかった 3. 効果がなかった	a. 里地里山の価値に対する認識が向上している b. 里地里山とのふれあいの機会を創出している c. 活動を通じて交流が拡大している d. 里地里山に対する理解向上の場として活用されている e. その他()

V-1. 「農林業を通じた持続的な管理・利用、バイオマスなど新たな資源としての利用」に関連するデータの把握状況と変化の動向について

※おもな活動場所での取組について、貴団体等の活動目的・内容に関わらず、すべてご回答ください。

注④ 貴団体の活動の成果として、その増減を意識している項目↓

※下記「ア～シ」の項目について、それぞれ右記「①～④」の設問にお答えください。	①最近時点の状況について 把握の有無			②概数を記入 (①で「1」に〇の方のみ回答)	③変化の状況 (①で「1」「2」に〇の方のみ回答)			④重視する項目 (全員回答) ※いくつでも〇
	データとして把握	感覚的に把握	把握していない		増加傾向	変化なし	減少傾向	
記入例	1	②	3	人	1	②	3	○
ア. おもな活動場所での農林業従事者数 ⇒	1	2	3	人	1	2	3	
イ. 耕作放棄地など人の手が入らなくなった里地里山の面積 ⇒	1	2	3	ha	1	2	3	
ウ. 環境保全型の農林業に取り組む農家数 ⇒	1	2	3	戸	1	2	3	
エ. 活動を通じて生産された農産物等の生産量 ⇒	1	2	3	トン/年	1	2	3	
オ. 活動を通じた農産物等の販売・流通による収入 ⇒	1	2	3	円/年	1	2	3	
カ. バイオマスなど新たな資源の利用可能性 ※数値は単位も記入 ⇒	1	2	3		1	2	3	
キ. バイオマスなど新たな資源の利活用による収入 ⇒	1	2	3	円/年	1	2	3	
ク. その他 ※「農林業を通じた持続的な管理・利用、バイオマスなど新たな資源としての利用」に関連する取組について、特徴的な活動内容や、指標項目として検討してほしい内容などご自由にご記入ください。								

※注① 「データとして把握」: 調査結果や資料による把握、「感覚的に把握」: データはないが活動、経験から把握

V-2. 「野生動植物やその生息地の保全・管理」に関連するデータの把握状況と変化の動向について

※おもな活動場所での取組について、貴団体等の活動目的・内容に関わらず、すべてご回答ください。

注④ 貴団体の活動の成果として、その増減を意識している項目↓

※下記「ア～シ」の項目について、それぞれ右記「①～③」の設問にお答えください。	① 最近の動植物の生息・生育状況					② 活動開始から現在までの変化状況 (②で動植物等について回答の方)												③ 重視する項目 (全員回答) ※いくつでも○		
	①-1 動植物等の把握状況			①-2 該当する動植物等の有無 (①-1で「1」「2」に回答の方)		①-3 該当する動植物 (①-2で「いる(ある)」と回答の方は以下を記入)	②-1 変化状況の把握の有無 (①-3に回答の方)			②-2 動植物の数の変化状況 (②-1で「1」「2」に回答の方)				②-3 動植物の分布域の変化状況 (②-1で「1」「2」に回答の方)						
	データとして把握	感覚的に把握していない	把握していない	(ある)	(いない)		データとして把握	感覚的に把握していない	把握していない	増加	変化なし	減少	把握していない	拡大	変化なし	縮小	把握していない			
記入例	1	②	3	①	2	メダカ	1	②	3	1	2	③	4	1	2	3	④	○		
■ 団体としての動植物への関わりや関心について																				
ア. 保全や研究に力を入れている動植物	1	2	3	1	2	保全・研究している動植物を3つまで記入。	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4		
	1	2	3	1	2	A()	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4		
	1	2	3	1	2	B()	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4		
イ. 活動場所で見られる動植物の種リスト作成状況	⇒	/	/	/	/	リストのあるグループすべてに○ 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、 魚類、昆虫、植物、 その他()	⇒	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
■ 「活動場所」に生息生育する動植物の状況及び変化																				
ウ. 大型哺乳類の生息状況	⇒	1	2	3	1	2	「いる」場合、特に増加/減少、分布域の拡大・縮小している動物1つに○ クマ、シカ、イノシシ、サル、 その他(動物名:)	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	
エ. ワシタカなど、食物連鎖の上位に位置する動物の有無	⇒	1	2	3	1	2	「いる」場合、特に増加/減少、分布域の拡大/縮小している動物1つに○ キツネ、テン、イタチ、ワシタカ類、 フクロウ類、ヘビ類、 その他(動物名:)	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	
オ. 竹林の有無	⇒	1	2	3	1	2	「ある」場合、活動場所でもっとも多い竹の種類1つに○ モウソウチク、マダケ、ハチク、 その他()	⇒	1	2	3	/	/	/	/	1	2	3	4	

※下記「ア～シ」の項目について、それぞれ右記「①～③」の設問にお答えください。	① 最近の動植物の生息・生育状況						② 活動開始から現在までの変化状況 (②で動植物等について回答の方)												③重視する項目 (全員回答) ※いくつでも○
	①-1 動植物等の把握状況			①-2 該当する動植物等の有無 (①-1で「1」「2」に回答の方)			①-3 該当する動植物 (①-2で「いる(ある)」と回答の方は以下を記入)	②-1 変化状況の把握の有無 (①-3に回答の方)			②-2 動植物の数の変化状況 (②-1で「1」「2」に回答の方)				②-3 動植物の分布域の変化状況 (②-1で「1」「2」に回答の方)				
	データとして把握	感覚的に把握していない	把握していない	(ある)	(ない)	データとして把握		感覚的に把握していない	把握していない	増加	変化なし	減少	把握していない	拡大	変化なし	縮小	把握していない		
カ. 山菜やキノコ類(栽培でないもの)の生育状況	⇒	1	2	3	1	2	「ある」場合、特によく利用しているもの1つを記入。 ()	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
キ. 雑木林に咲く山野草の生育状況	⇒	1	2	3	1	2	「ある」場合、特に増加/減少、分布域の拡大/縮小している植物1つに○カタクリ、ラン類、スマレ類、ユリ類、その他(種名:)	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
ク. 園芸植物の栽培状況	⇒	1	2	3	1	2	「植えている」場合、主に植えている代表的な植物1つを記入 (種名:)	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
ケ. 里地里山の環境を荒らしたり、他の生物に悪影響を及ぼすなど、困っている(駆除したい)外来種の有無	⇒	1	2	3	1	2	「いる」場合、特に困っている外来種1つに○アライグマ、アカミミガメ、ウシガエル、オオクチバス、ブルーギル、オオキンケイギク、その他()	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
コ. その他、増減している動植物	⇒	1	2	3	1	2	「いる」場合はその動植物を1つを記入 ()	⇒	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
サ. 活動場所にある生物で特に困っていること(*)はありますか? 「ある」場合はその生物名と理由を記述して下さい。	⇒	/	/	/	1	2	生物名: 理由:												

*:「困っていること」とは、例えば、農林業に被害を及ぼしている。人を刺す、襲うなど危害を加える。利用価値が高いのに、減少している。乱獲されているなどのことです。

※注①-1、②-1 「データとして把握」: 調査結果や資料による把握、「感覚的に把握」: データはないが活動、経験から把握

V-3. 「良好な景観の保全、伝統的生活文化の智恵や技術の継承」に関連するデータの把握状況と変化の動向について

※おもな活動場所での取組について、貴団体等の活動目的・内容に関わらず、すべてご回答ください。

注④ 貴団体の活動の成果として、その増減を意識している項目↓

※下記「ア～サ」の項目について、それぞれ右記「①～④」の設問にお答えください。	①最近時点の状況について 把握の有無			②概数を記入 (①で「1」に〇の方のみ回答)	③変化の状況 (①で「1」「2」に〇の方のみ回答)			④重視する項目 (全員回答) ※いくつでも〇
	データとして把握	感覚的に把握	把握していない		増加傾向	変化なし	減少傾向	
記入例	①	2	3	約200 人/年	①	2	3	○
ア. 里地里山の良好な景観を目的とした来訪者数 ⇒	1	2	3	人/年	1	2	3	
イ. おもな活動場所内で保全対象としてリストアップされている景観・文化資源数 ⇒	1	2	3	個	1	2	3	
ウ. 里地里山の景観、伝統的な生活文化を基盤としたイベント・プログラムの数 ⇒	1	2	3	件/年	1	2	3	
エ. 上記イベント・プログラムへの参加者数 ⇒	1	2	3	のべ 人/年	1	2	3	
オ. 里地里山維持管理のための伝統的手法・技術の継承者数 ⇒	1	2	3	人	1	2	3	
カ. 活動に協力・参加している地元住民の数 ⇒	1	2	3	人	1	2	3	
キ. 活動を通じて交流している他の地域、団体等の数 ⇒	1	2	3	団体	1	2	3	
ク. その他 ※「良好な景観の保全、伝統的生活文化の智恵や技術の継承」に関連する取組について、特徴的な活動内容や、指標項目として検討してほしい内容などご自由にご記入ください。								

※注① 「データとして把握」: 調査結果や資料による把握、「感覚的に把握」: データはないが活動、経験から把握

V-4. 「環境教育や自然体験、エコツーリズム等の場としての利用」に関連するデータの把握状況と変化の動向について

※おもな活動場所での取組について、貴団体等の活動目的・内容に関わらず、すべてご回答ください。

注④ 貴団体の活動の成果として、その増減を意識している項目↓

※下記「ア～サ」の項目について、それぞれ右記「①～④」の設問にお答えください。	①最近時点の状況について 把握の有無			②概数を記入 (①で「1」に〇の方のみ回答)	③変化の状況 (①で「1」「2」に〇の方のみ回答)			④重視する項目 (全員回答) ※いくつでも〇
	データとして把握	感覚的に把握	把握していない		増加傾向	変化なし	減少傾向	
記入例	1	2	③	人	1	2	3	
ア. 活動に参加・協力している地元住民の数 ⇒	1	2	3	人	1	2	3	
イ. 里地里山を基盤とした環境教育、体験等のイベント・プログラムの数 ⇒	1	2	3	件/年	1	2	3	
ウ. 上記イベント・プログラムへの参加者数 ⇒	1	2	3	のべ 人/年	1	2	3	
エ. 自然体験、エコツーリズム等を目的とした来訪者数 ⇒	1	2	3	のべ 人/年	1	2	3	
オ. 自然資源を活かしたサービス提供による収入 ⇒	1	2	3	円/年	1	2	3	
カ. 里地里山保全に関連する講習・研修等の開催数 ⇒	1	2	3	件/年	1	2	3	
キ. おもな活動場所を環境学習等で活用している他団体の数 ⇒	1	2	3	団体	1	2	3	
ク. その他 ※「環境教育や自然体験、エコツーリズム等の場としての利用」に関連する取組について、特徴的な活動内容や、指標項目として検討してほしい内容などご自由にご記入ください。 ※また、活動場所(里地里山の自然環境)や活動そのものに対して、来訪者からよく聞かれる意見や感想があれば、あわせてご記入ください。								

※注① 「データとして把握」: 調査結果や資料による把握、「感覚的に把握」: データはないが活動、経験から把握

VI. 取組によりもたらされた効果、取組の満足度について

※貴団体等で行われている活動全体を通じて得られる効果や満足度について、以下(1)～(2)の設問にお答えください。

(1) 取組による効果について ※あてはまるものすべてに○、うちとくに重視するもの2項目以内に◎

- ア. おもな活動場所の里地里山の自然環境が適切に保全・管理されている
- イ. 活動に対して、行政等による補助、表彰、メディアに取り上げられるなど外部の評価が得られた
- ウ. 多様な主体との連携、他団体等の支援による資金確保など、取組の実施体制が確立した
- エ. 里地里山の保全・活用のモデル的取組として注目されるなど評価が定着している
- オ. 地域を訪れる人が増えた
- カ. 里地里山に対する理解の醸成につながっている
- キ. 住民どうしの新たな交流など、活動を通じて関係する地域(集落)内のコミュニティ活動が活発化した
- ク. 地域資源の持続可能な利用による新たなビジネスや雇用が創出されている
- ケ. 里地里山の保全・活用に向けた人材育成につながっている
- コ. 里地里山の保全・活用に向けた機運や新たな取組が生まれている
- サ. その他(取組によって得られた効果等について、以下にご自由にご記入ください)

(2) 活動全体を通じた取組への満足度 ※あてはまるもの1つに○

1. 非常に満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満足 5. 非常に不満足

☆以上で終了となります。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。